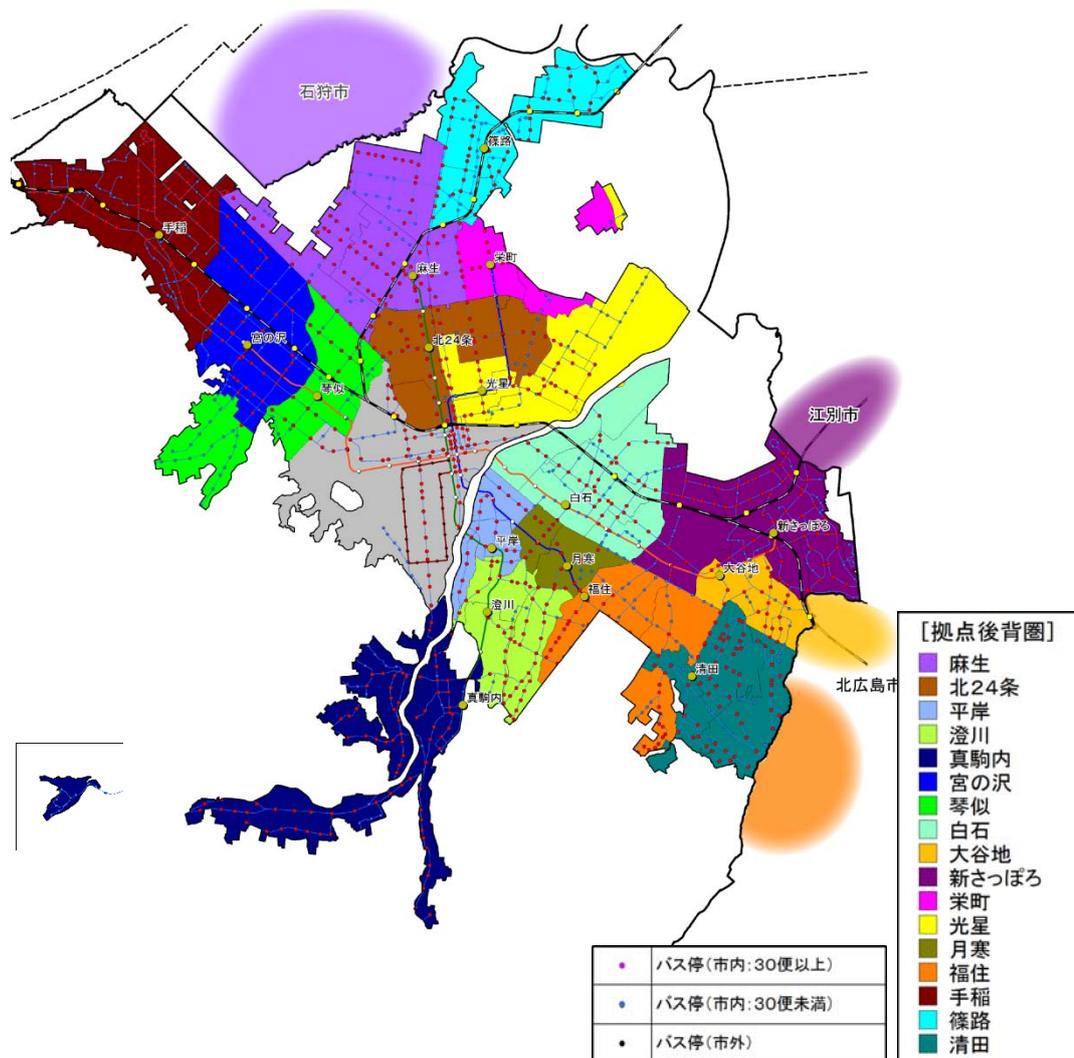


## ■地域特性の分析

地域特性を把握するため、各地域交流拠点において、後背圏を含めた特徴や都市機能誘導区域内の特徴などについて整理しました。

### 【地域交流拠点後背圏の選定】

- 地域交流拠点の後背圏（各拠点のまちづくりを展開する範囲）を「まちづくりセンターエリア単位」を基本に選定しました。



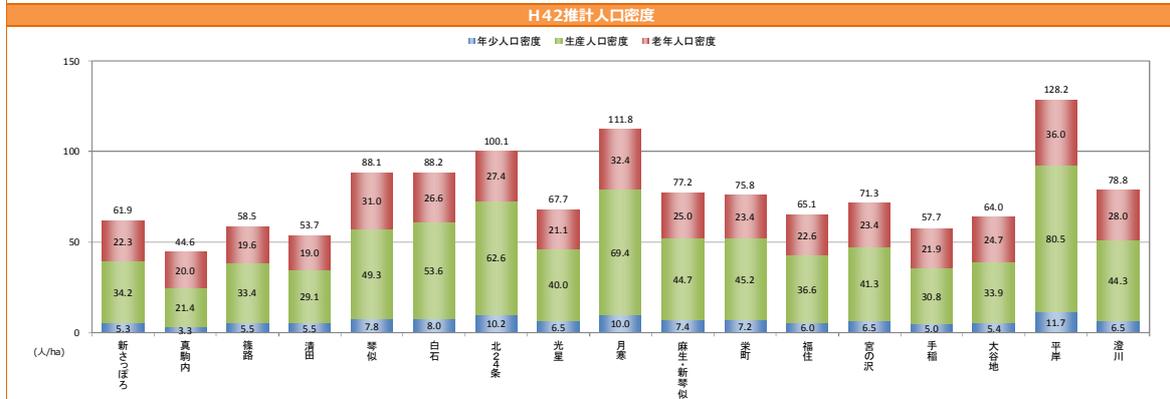
### ◆地域交流拠点後背圏について

- 拠点後背圏の選定は、バス交通を基本にまちづくりセンターエリア単位で実施。
- まちづくりセンターエリアごとに、地域交流拠点を通過する片道30便以上のバス路線（バス停）を整理し、拠点後背圏を選定。
- まちづくりセンターエリア内に拠点通過路線が複数存在する場合等については、個別に便数等の精査を実施し拠点後背圏を選定。

【地域交流拠点後背圏人口】



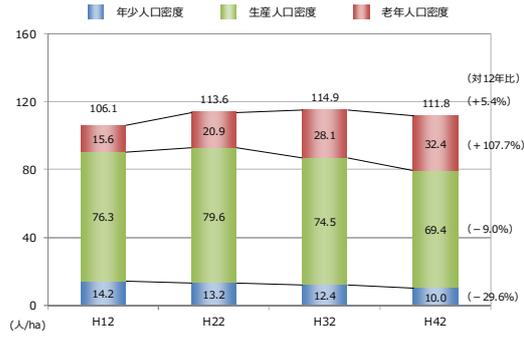
【地域交流拠点後背圏人口密度（拠点別比較）】



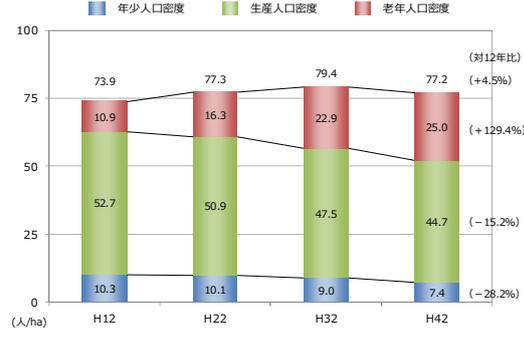
【地域交流拠点後背圏人口密度（年度別比較）】



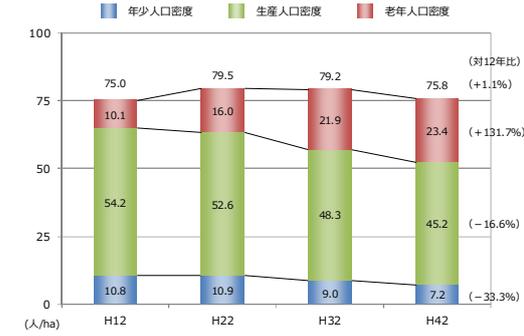
9 月寒



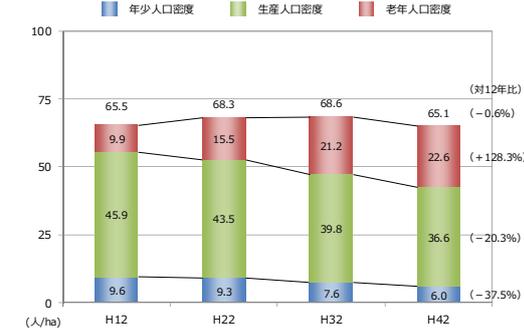
10 麻生・新琴似



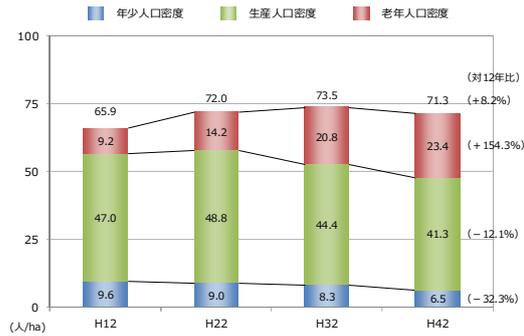
11 栄町



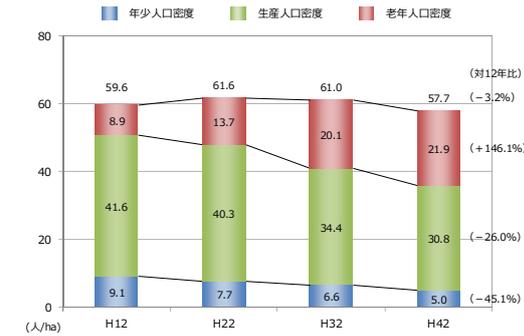
12 福住



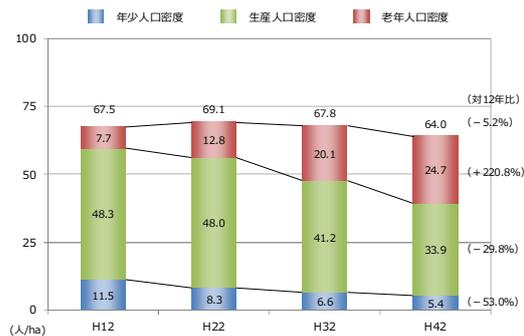
13 宮の沢



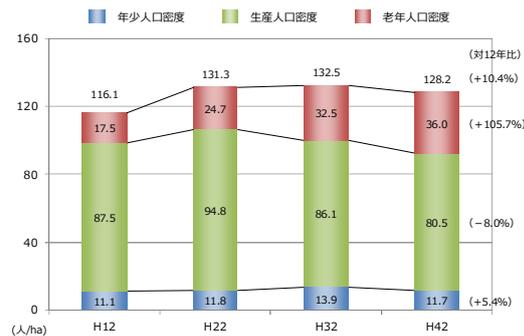
14 手稲



15 大谷地



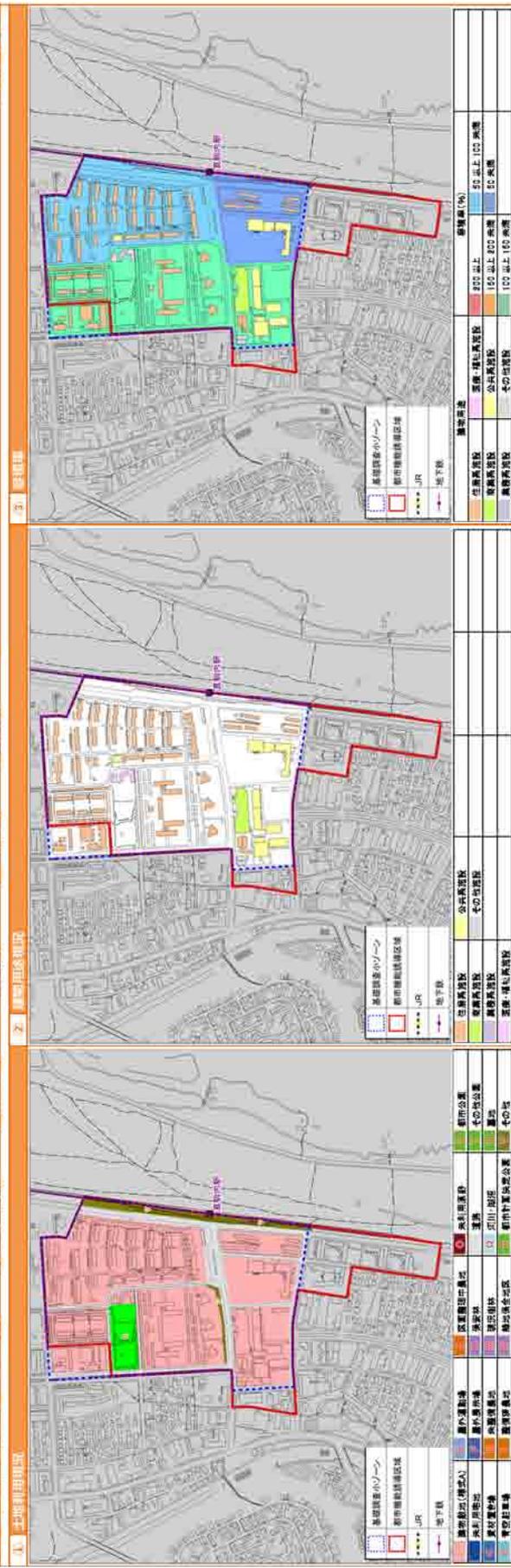
16 平岸



17 澁川







建物用途別面積 (棟)	住居系施設	商業系施設	医療・福祉系施設	その他施設
<p>住居系施設: 167,088 (H12), 167,365 (H23)</p> <p>商業系施設: 52 (H12), 54 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 5 (H12), 6 (H23)</p> <p>公共施設: 44 (H12), 45 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>住居系施設: 129,061 (H12), 129,271 (H23)</p> <p>商業系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>公共施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>商業系施設: 12 (H12), 13 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>公共施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>医療・福祉系施設: 646 (H12), 646 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>商業系施設: 5 (H12), 5 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>公共施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>

建物用途別延床面積 (㎡)	住居系施設	商業系施設	医療・福祉系施設	その他施設
<p>住居系施設: 167,088 (H12), 167,365 (H23)</p> <p>商業系施設: 52 (H12), 54 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 5 (H12), 6 (H23)</p> <p>公共施設: 44 (H12), 45 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>住居系施設: 129,061 (H12), 129,271 (H23)</p> <p>商業系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>公共施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>商業系施設: 12 (H12), 13 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>公共施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>医療・福祉系施設: 646 (H12), 646 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>	<p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>商業系施設: 5 (H12), 5 (H23)</p> <p>医療・福祉系施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>公共施設: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>その他施設: 0 (H12), 0 (H23)</p>

人口動向	人口動向	人口動向
<p>年少人口: 3,383 (H12), 3,099 (H23)</p> <p>老年人口: 658 (H12), 976 (H23)</p> <p>総人口: 4,041 (H12), 4,075 (H23)</p>	<p>年少人口: 15,927 (H12), 14,591 (H23)</p> <p>老年人口: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>総人口: 15,927 (H12), 14,591 (H23)</p>	<p>年少人口: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>老年人口: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>総人口: 0 (H12), 0 (H23)</p>

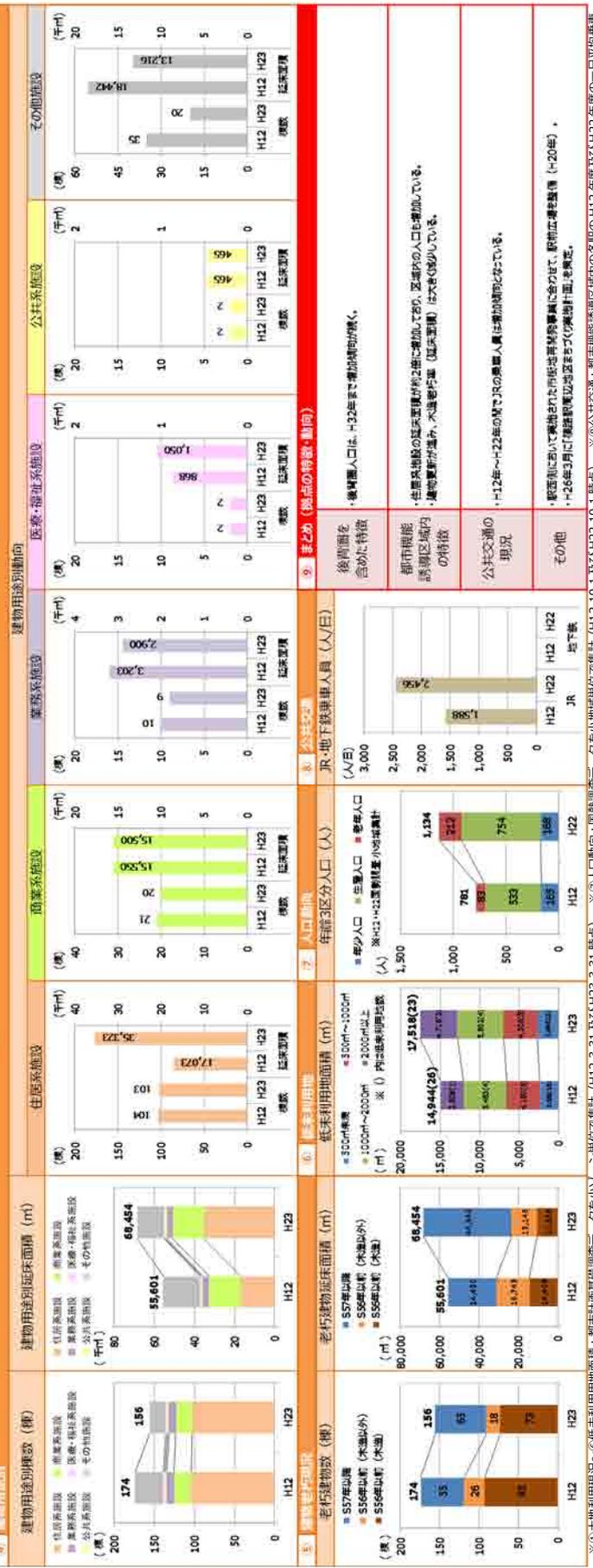
  

人口動向	人口動向
<p>年少人口: 3,383 (H12), 3,099 (H23)</p> <p>老年人口: 658 (H12), 976 (H23)</p> <p>総人口: 4,041 (H12), 4,075 (H23)</p>	<p>年少人口: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>老年人口: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>総人口: 0 (H12), 0 (H23)</p>

人口動向	人口動向
<p>年少人口: 3,383 (H12), 3,099 (H23)</p> <p>老年人口: 658 (H12), 976 (H23)</p> <p>総人口: 4,041 (H12), 4,075 (H23)</p>	<p>年少人口: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>老年人口: 0 (H12), 0 (H23)</p> <p>総人口: 0 (H12), 0 (H23)</p>

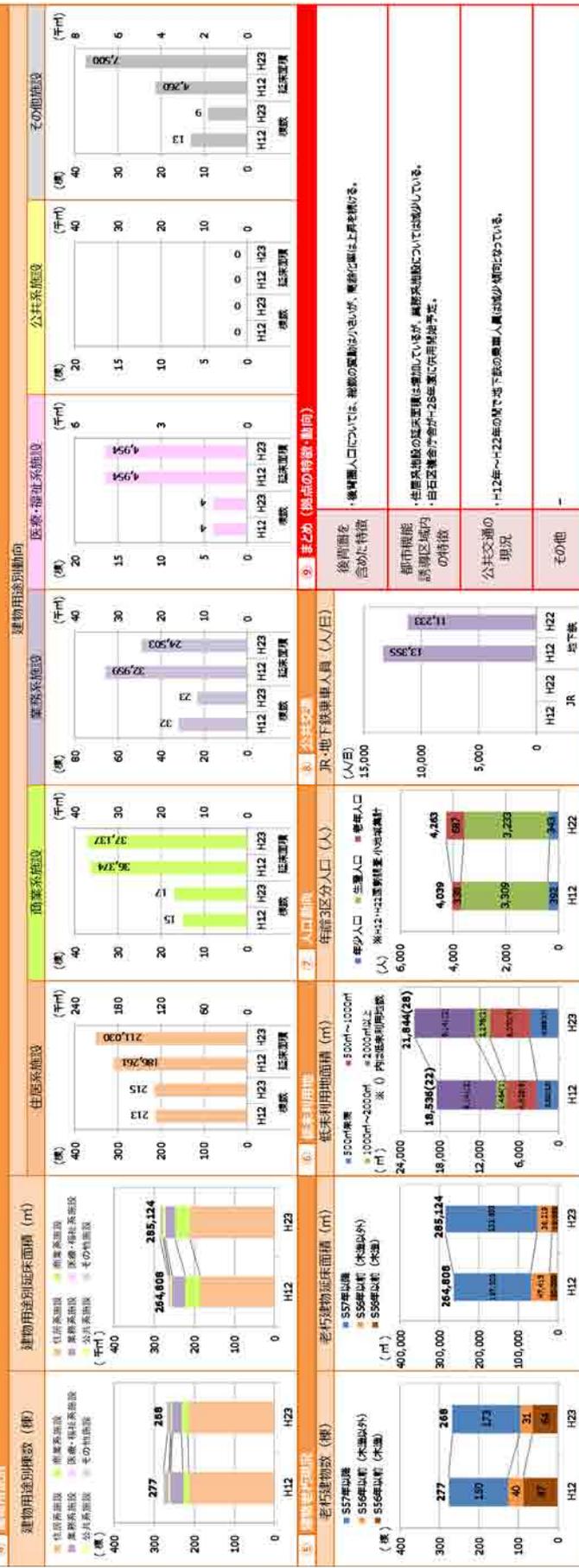
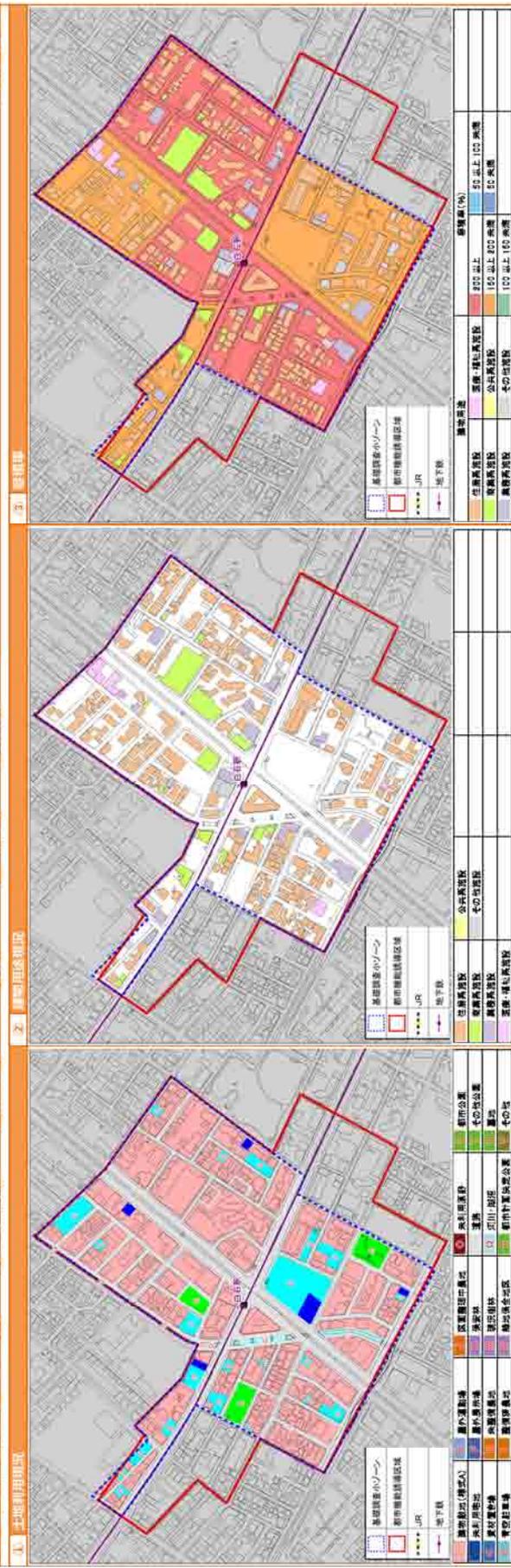
※①土地利用区分～⑥延床利用延床面積: 都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31 及び H23.3.31 時点) ※⑦人口動向: 国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通: 都市圏距離圏区域内の各駅の H12 年度及び H22 年度の一日平均乗車人員を集計 (出典: 札幌の都市交通データ)



※①土地利用状況～⑥紙未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※⑧公共交通：都市機能調査区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌市都市交通データ)



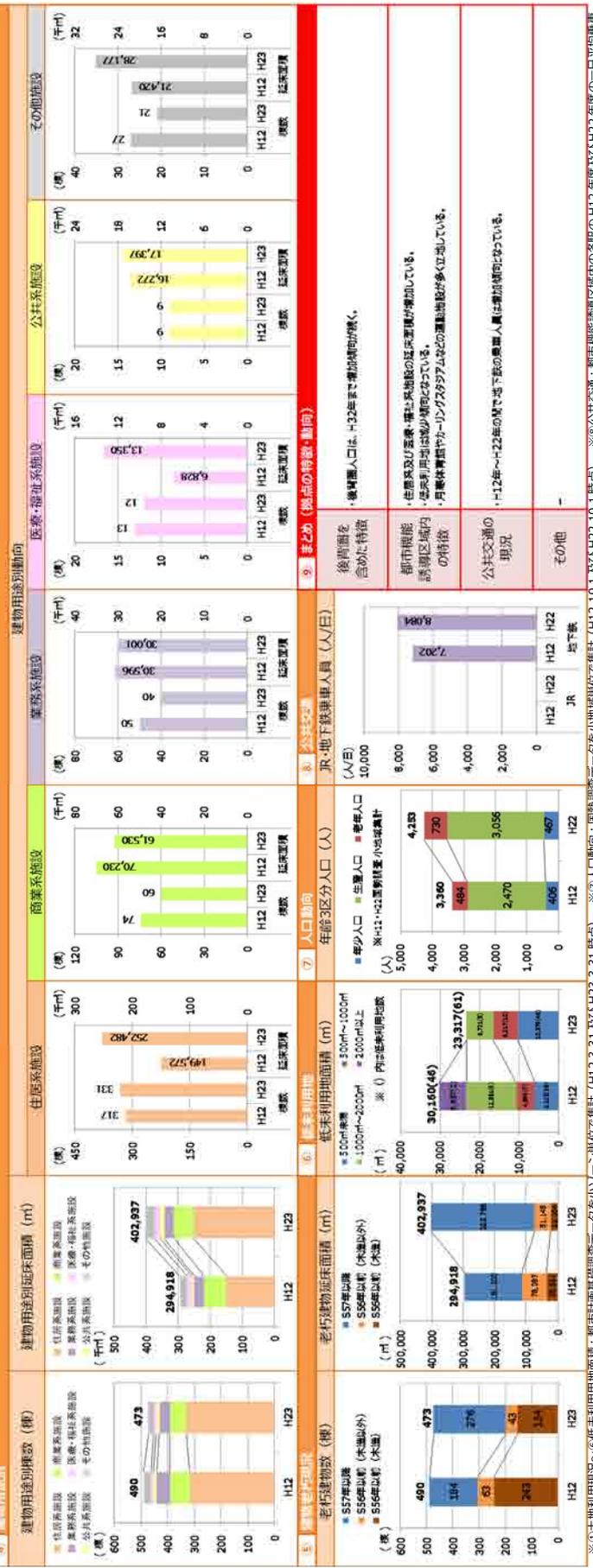
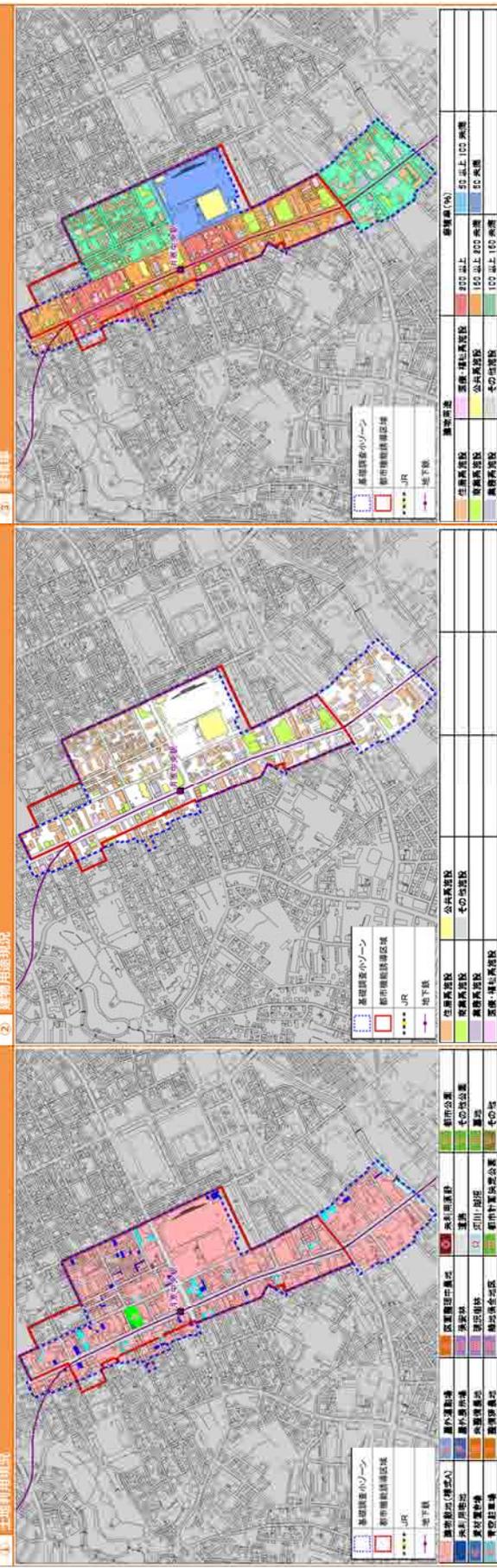




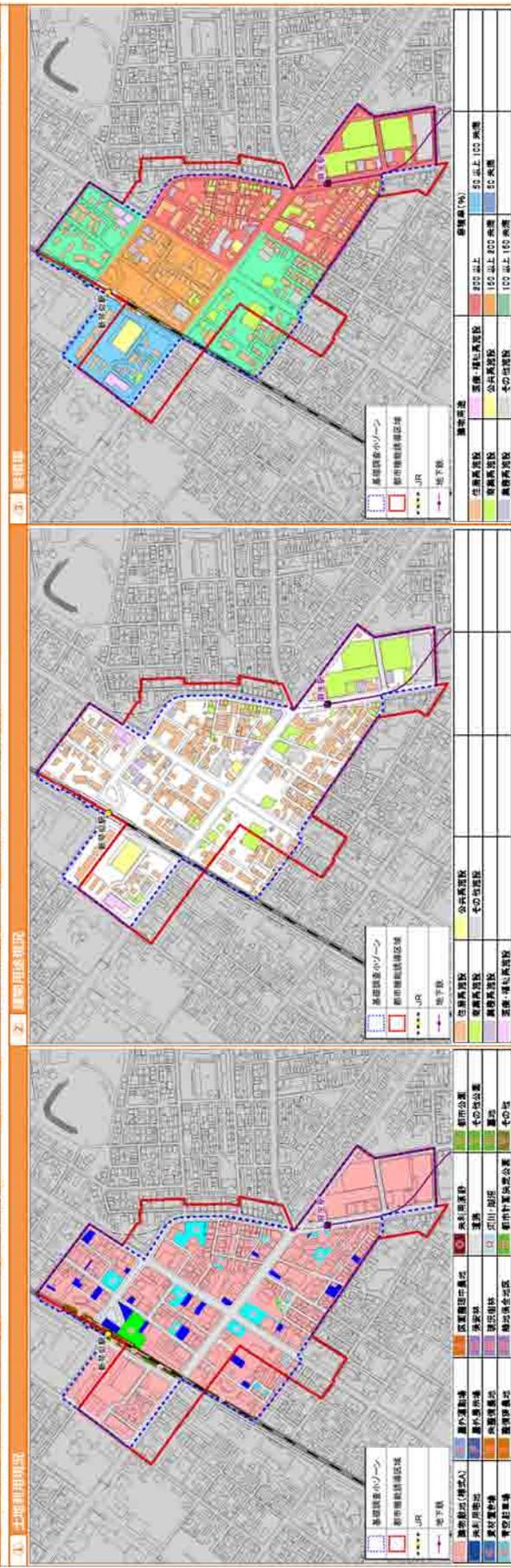
※①土地利用状況～⑥延床利用面積：都市計画課調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※の人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※⑧公共交通：都市圏圏域内各町のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)







※①土地利用状況～⑥土地利用面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計（H12.3.31及びH23.3.31時点） ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計（H12.10.1及びH22.10.1時点） ※⑧公共交通：都市機能誘導圏内のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計（出典：札幌の都市交通データ）

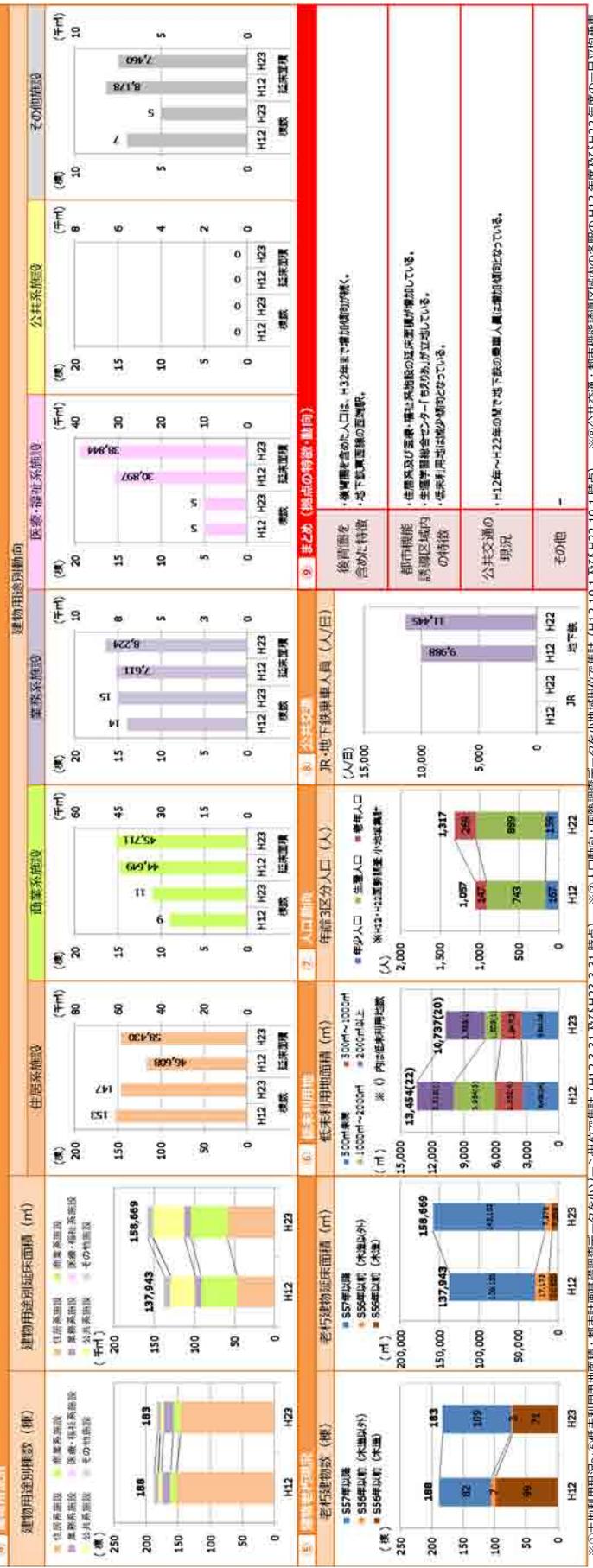
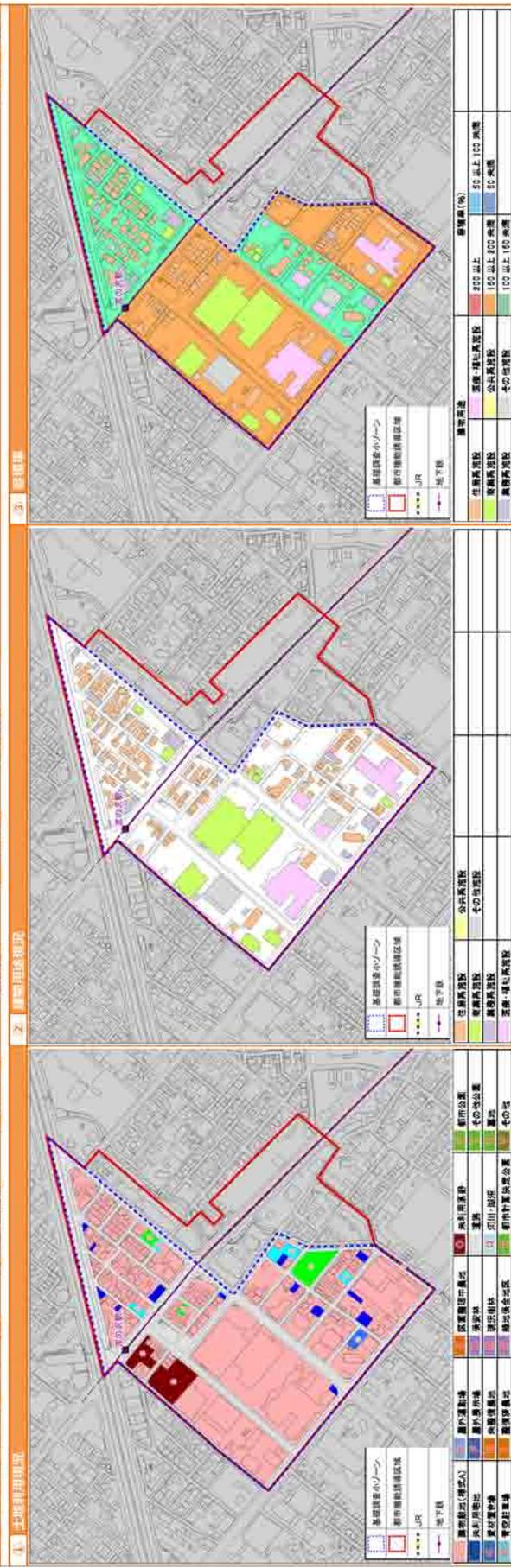


建築物用途別面積 (棟)	住居系施設	商業系施設	業務系施設	医療・福祉系施設	公共系施設	その他施設
<p>④ 建築物用途別面積 (棟)</p> <p>住居系施設: 317 商業系施設: 349 業務系施設: 292,747 医療・福祉系施設: 315,427 公共系施設: 166,261 その他施設: 142,670</p>	<p>⑤ 建築物用途別面積 (㎡)</p> <p>557年以降: 317 556年以前(水浸以外): 161 556年以前(水浸): 28 555年以前(水浸): 150 555年以前(水浸): 52</p>	<p>⑥ 建築物用途別面積 (㎡)</p> <p>505㎡未満: 166,261 505㎡未満: 142,670 1000㎡~2000㎡: 19,173(37) 1000㎡~2000㎡: 4,493 2000㎡以上: 4,493 ※0以内: 未利用地</p>	<p>⑦ 人口動向</p> <p>年齢3区分人口(人): 年少人口 3,446, 生産人口 474, 老年人口 712 ※H12~H23年間増加率: 年少人口 2,714, 生産人口 2,639, 老年人口 226</p>	<p>⑧ 人口動向</p> <p>年齢3区分人口(人): 年少人口 3,446, 生産人口 474, 老年人口 712 ※H12~H23年間増加率: 年少人口 2,714, 生産人口 2,639, 老年人口 226</p>	<p>⑨ JR-地下鉄線人員(人/日)</p> <p>H12: 7,584 H23: 3,383 地下鉄: 23,042 JR: 3,383</p>	<p>⑩ まとめ(拠点の特徴・動向)</p> <p>後背圏を合わせた特徴: 後背圏人口は全県中で最も多く、H22年まで増加傾向が続き、地下鉄駅北側の北側駅、右側市街地も後背圏となっている。 都市機能誘引区域内の特徴: 住居系及び商業・福祉系施設の延床面積が増加している。J・A駅、地下鉄駅等がある他の拠点(新成生、豊原)と比較すると、地下鉄の乗車人員は増加傾向であるが、地下鉄の乗車人員は減少傾向となっている。 公共交通の状況: Jは新豊原と地下鉄新豊原駅が存在、H12年~H22年の間でJの乗車人員は増加傾向であるが、地下鉄の乗車人員は減少傾向となっている。</p>

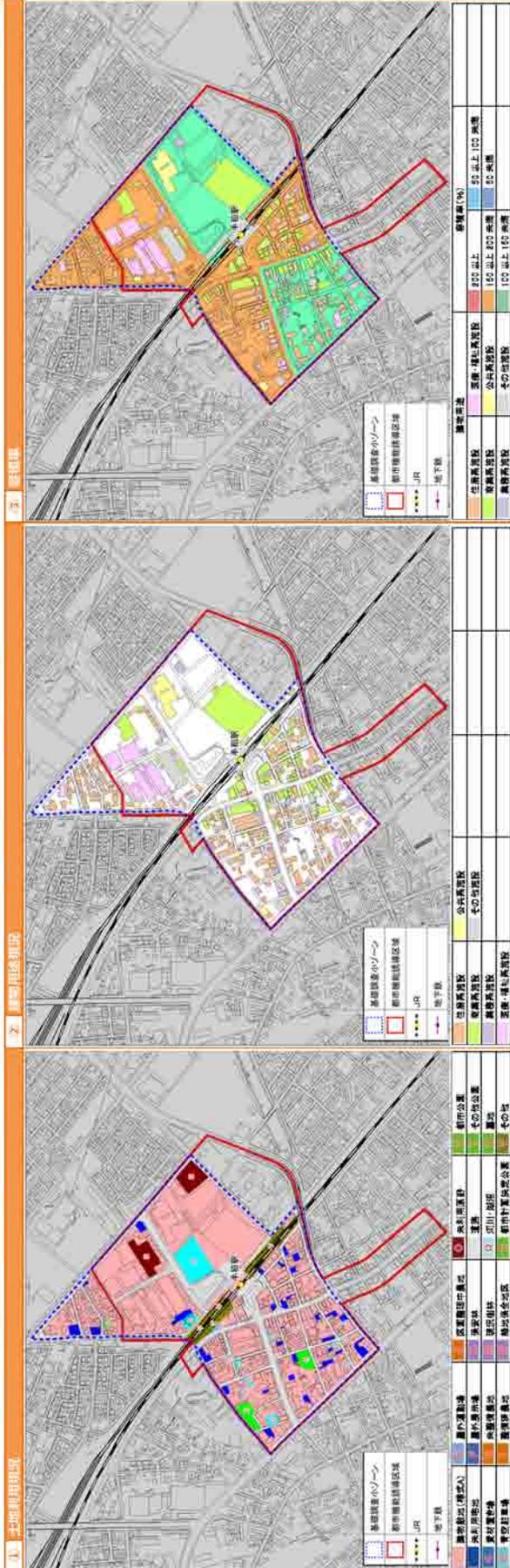
※①土地利用状況～⑥延床利用面積: 都市計画基礎調査データを小ソート単位で集計 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※の人口動向: 国勢調査データを小ソート単位で集計 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※⑧公共交通: 都市圏距離圏区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計 (出典: 札幌の都市交通データ)





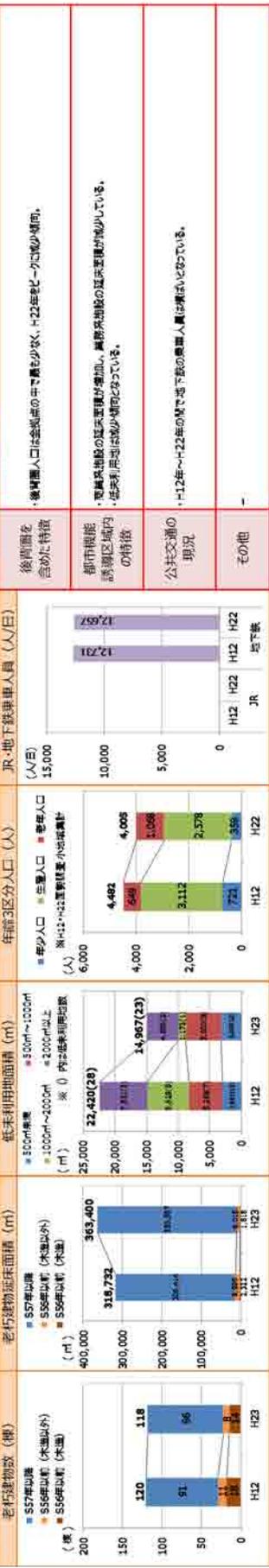
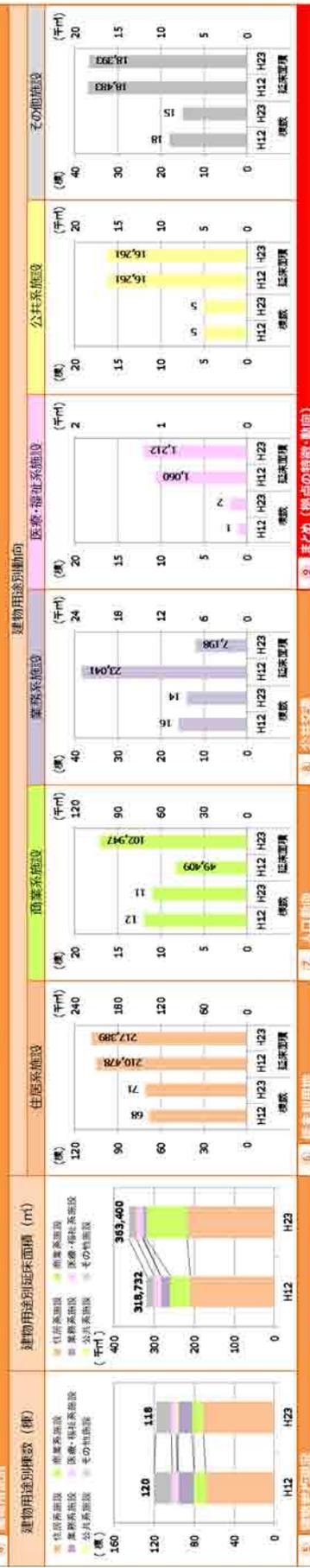


※①土地利用現況～⑥土地利用面積：都市計画調査データをもとに算出。 ※⑦人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑧人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑨人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑩人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑪人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑫人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑬人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑭人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑮人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑯人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑰人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑱人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑲人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※⑳人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉑人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉒人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉓人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉔人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉕人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉖人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉗人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉘人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉙人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉚人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉛人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉜人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉝人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉞人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㉟人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊱人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊲人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊳人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊴人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊵人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊶人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊷人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊸人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊹人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊺人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊻人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊼人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊽人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊾人口動向：国勢調査データをもとに算出。 ※㊿人口動向：国勢調査データをもとに算出。

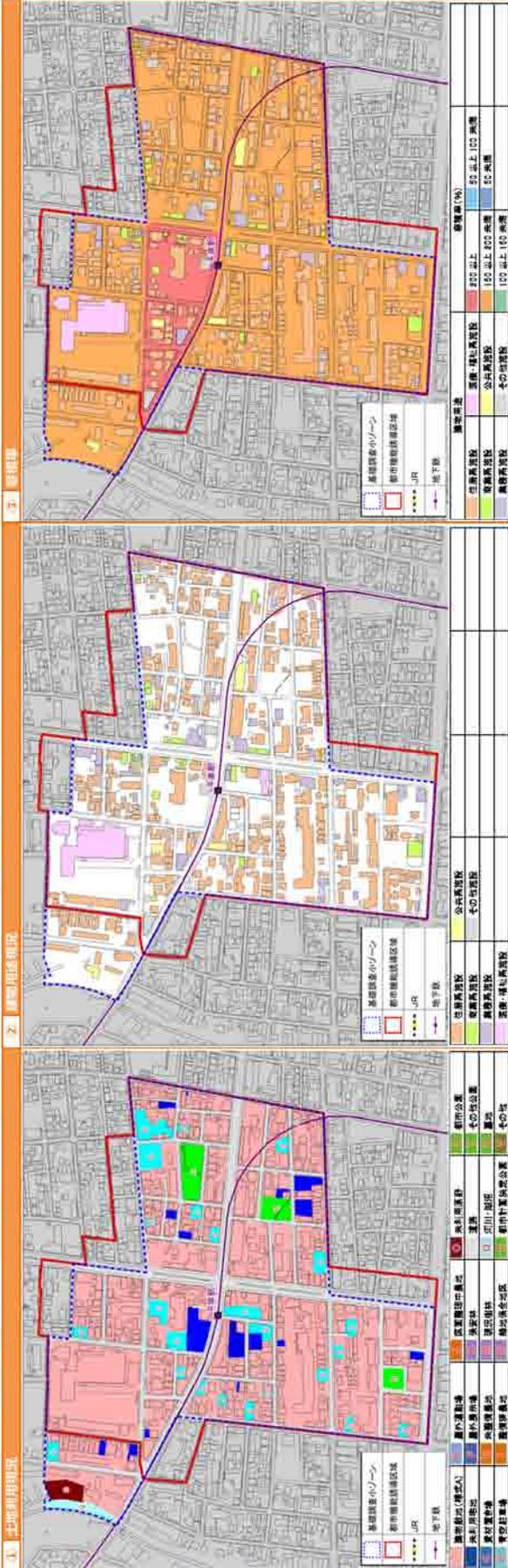


建物用途別面積 (棟)	建物用途別延床面積 (㎡)	住宅系施設	商業系施設	業務系施設	医療・福祉系施設	公共系施設	その他施設
<p>310 322</p> <p>310 322</p> <p>310 322</p>	<p>214,744 269,130</p> <p>214,744 269,130</p> <p>214,744 269,130</p>	<p>69,799 69,799</p> <p>69,799 69,799</p> <p>69,799 69,799</p>	<p>77,988 77,988</p> <p>77,988 77,988</p> <p>77,988 77,988</p>	<p>10,882 10,882</p> <p>10,882 10,882</p> <p>10,882 10,882</p>	<p>11 11</p> <p>11 11</p> <p>11 11</p>	<p>45 45</p> <p>45 45</p> <p>45 45</p>	<p>196,722 196,722</p> <p>196,722 196,722</p> <p>196,722 196,722</p>
<p>310 322</p> <p>310 322</p> <p>310 322</p>	<p>214,744 269,130</p> <p>214,744 269,130</p> <p>214,744 269,130</p>	<p>69,799 69,799</p> <p>69,799 69,799</p> <p>69,799 69,799</p>	<p>77,988 77,988</p> <p>77,988 77,988</p> <p>77,988 77,988</p>	<p>10,882 10,882</p> <p>10,882 10,882</p> <p>10,882 10,882</p>	<p>11 11</p> <p>11 11</p> <p>11 11</p>	<p>45 45</p> <p>45 45</p> <p>45 45</p>	<p>196,722 196,722</p> <p>196,722 196,722</p> <p>196,722 196,722</p>
<p>310 322</p> <p>310 322</p> <p>310 322</p>	<p>214,744 269,130</p> <p>214,744 269,130</p> <p>214,744 269,130</p>	<p>69,799 69,799</p> <p>69,799 69,799</p> <p>69,799 69,799</p>	<p>77,988 77,988</p> <p>77,988 77,988</p> <p>77,988 77,988</p>	<p>10,882 10,882</p> <p>10,882 10,882</p> <p>10,882 10,882</p>	<p>11 11</p> <p>11 11</p> <p>11 11</p>	<p>45 45</p> <p>45 45</p> <p>45 45</p>	<p>196,722 196,722</p> <p>196,722 196,722</p> <p>196,722 196,722</p>

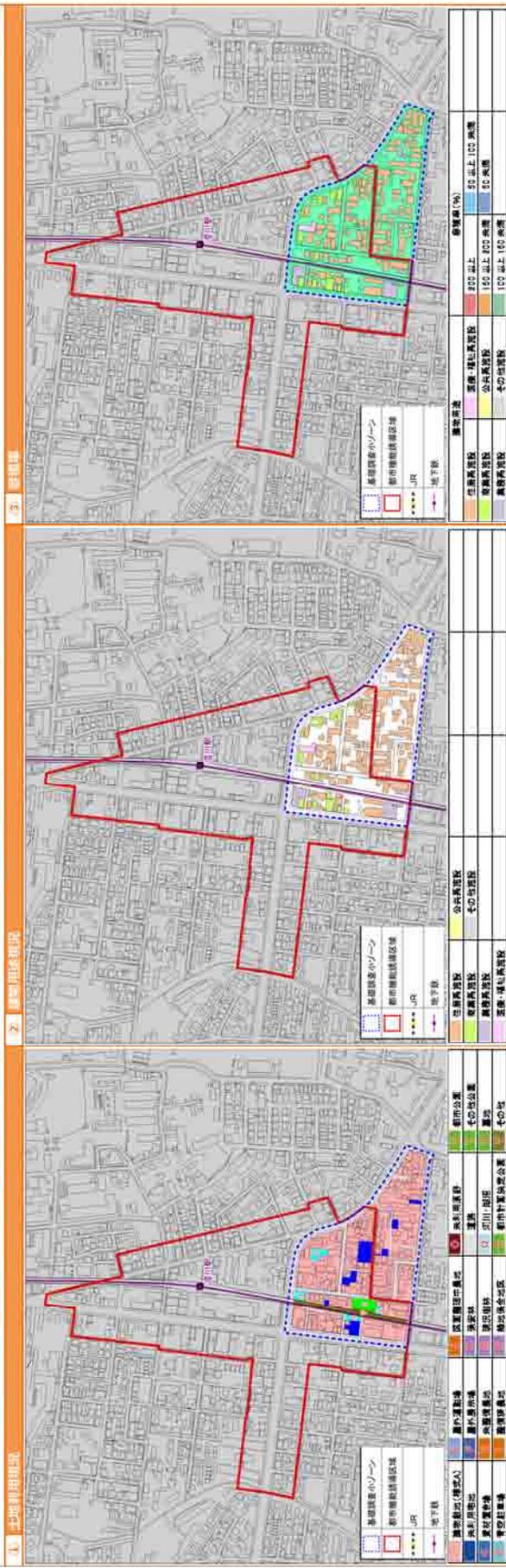
※①土地利用率②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



①土地利用状況～⑥基本利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計（H12.3.31及びH23.3.31時点） ※の人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計（H12.10.1及びH22.10.1時点） ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の名称のH12年度及びH22年度の日平均乗車人員を集計（出典：札幌の都市交通データ）



※①土地利用現況～⑥土地利用面積：都市計画調査データをもとに算出。⑦人口動向：国勢調査データをもとに算出。⑧～⑩：都市計画調査データをもとに算出。



建物用途別集積 (棟)	建物用途別延床面積 (㎡)			建物用途別人口 (人)			建物用途別就業人員 (人/日)			その他施設
	H12	H23	H22	H12	H23	H22	H12	H23	H22	
<p>5. 老朽建築物 (棟)</p> <p>■ 557年以降 (水漏れ外)</p> <p>■ 556年以前 (水漏れ外)</p> <p>■ 556年以前 (水漏)</p> <p>■ 555年以前 (水漏)</p>	127	131	79	33	79	40	15	15	3	0
<p>6. 未土地利用面積 (㎡)</p> <p>■ 500㎡未満</p> <p>■ 500㎡~1000㎡</p> <p>■ 1000㎡~2000㎡</p> <p>■ 2000㎡以上</p> <p>(㎡) ※ ( ) 内=延床利用面積</p>	40,091	33,623	40,091	3,618(14)	3,356(11)	3,618(14)	3,618(14)	3,356(11)	3,618(14)	3,356(11)
<p>7. 人口動向</p> <p>■ 年少人口</p> <p>■ 若年人口</p> <p>■ 老年人口</p> <p>(人) ※ H12~H22 5年単位集積小計</p>	796	57	127	746	127	57	746	127	57	127
<p>8. 公共交通</p> <p>■ JR-地下鉄乗車人員 (人/日)</p> <p>(人/日)</p> <p>15,000</p>	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
<p>9. まよみ (拠点の特徴・動向)</p> <p>■ 後背圏を合わせた特徴</p> <p>■ 都市機能誘引区域内の特徴</p> <p>■ 公共交通の状況</p> <p>■ その他</p>	後背圏を合わせた特徴	都市機能誘引区域内の特徴	公共交通の状況	その他	後背圏を合わせた特徴	都市機能誘引区域内の特徴	公共交通の状況	その他	後背圏を合わせた特徴	都市機能誘引区域内の特徴

※①:土地利用状況・②:延床利用面積:都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※③:人口動向:国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※④:公共交通:都市機能誘引区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計 (出典:札幌の都市交通データ)

【都市機能誘導区域（都心）の土地利用状況等】

